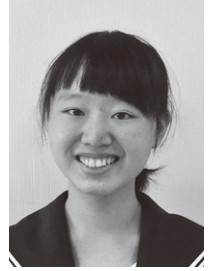


## 優秀賞

### 言葉がくれる勇気



大間町立奥戸中学校 3年 林 日向葵

「行ってらっしゃい、頑張ってね」これは私が朝、家を出るときに母が必ずかけてくれる言葉です。何か行事がある日や特別な日だけでなく、毎日、毎日。

正直「わかっているのに」「もう頑張っている」などと思ったことも何度かありますが、母はこの言葉で私のことを毎日応援してくれているのだと思います。

皆さんには応援している人がいますか？頑張っている人、一生懸命な人、たくさんのことに挑戦している人、活躍している人など、どんな人を応援しているのかは、人それぞれだと思いますが、やっぱり何事にも一生懸命取り組んでいる人のことを応援したくなるのではないのでしょうか。そして、応援しながら自分も勇気をもらい、自分も頑張ろうと思うことができる、そんな人のことを応援しているのだと思います。

「一生懸命な姿は必ず人の心を動かす」

私はこの言葉が大好きです。何事にも一生懸命に取り組んでいけば、気がつくとなんか見ていてくれて応援してくれる。また、応援されればされる程、それに応えようと今まで以上に頑張ることができる。その過程で人は成長できるのだと思います。

私の周りにはいつも家族、地域の方々、学校の仲間など、沢山の人がいます。そして、その人たちに支えられたおかげで、今の私がある、ということにとっても感謝しています。今までも、これからも、私のことを応援してくれている人の期待に応えるために、短い中学校生活の中で私ができることは何か、と考えたとき、この学校の生徒会長になって、「頑張れ」と一方的に言うだけでなく、「一緒に頑張ろう」とお互いに応援し合える学校、どんなことも一丸となって一生懸命取り組める学校をこの仲間と一緒に創っていきたくて強く思うようになりました。

また、一生懸命努力すること、主張すること、協力すること、求めることも大切なことです。ですが、「求めること」に関しては、私自身もそうですが、みなさんも上手くできていないと思います。「辛い、苦しい、助けてほしい」このような言葉は言うてはいけない言葉では決してないのです。辛いとき、助けてほしいときは、周りにいる仲間に素直に伝えられる信頼関係も大切にできる学校にしたい。この気持ちを、演説会で一生懸命なげかけると、在校生のみなさんが応援してくれ、私は今、奥戸中学校の生徒会長を務められています。今の奥戸中学校は、団結力があり、行事の取り組みや、日々の様々な活動において、1年生から3年生までが心をひとつにして取り組み、お互いが相手のことを大切にして、相手の良いところも悪いところも認め合い、高め合って生活しています。私はそんな奥戸中学校が大好きです。

「頑張れ」みなさんも普段から、何気なくかけたり、かけられたりしている一見簡単な言葉ですが、この言葉にはたくさんの力があると私は思います。

言葉は一瞬で相手を笑顔にすることができます。助けることもできます。しかし、それと同時に、相手を一瞬で苦しめ、傷つけることもできてしまうのです。相手がさりげなく言ったその言葉に傷ついた経験はありませんか？また、相手を傷つけてしまった後で後悔したことはありませんか？言葉は使い方がとても難しいと感じます。でも、そこであえて「頑張れ」と言ってみよう。その言葉で相手との関係を繋ぎ、きっと何かを変えることができるはずです。

私はこれから、もっと人のことを応援できる人になりたい。そして、応援してもらえる人になりたい。その先にある未来は、きっと明るく、充実したもので、無限に広がっていくと信じているから。

「行ってらっしゃい、頑張ってね」母は今日もこの言葉で私を送り出してくれた。

私もみなさんにこの言葉を伝えたい。

「私も頑張る」「みんなも頑張れ」